

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	①
御提案件名	汚染水貯蔵
御提案者	濱村 哲之進
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>① 地下水貯蔵</p> <p>連壁エリア内にある処理水タンクの沈下に関する方法である。</p> <p>面積等にもあるが、ジェットグラウト工法、又は、パラジェット工法を用いて、地下部の補強を行えば、沈下は防ぐ事が出来る。もちろん、理論的な厚さや幅は計算出来るので、その幅以上の補強を行えば十分かと考える。</p> <p>現状の貯水タンクは、発電所より約20m上に設置してある状況にある。詳細の状況については不明だが、まとめると、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発電所への地下水流入を防ぐ方法として、地下ダムの技術を応用する。地下水は、止めたり遮断するのではなく、流す方法を取る。→可能性は高い。 2. 貯水タンクは、ジェットグラウト工法、パラジェット工法等。→某会社が技術を持っており実績もある。可能性は高い。 	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) ・開発・実用化に向けた課題・留意点 ・その他 (特許等を保有している場合の参照情報等) 	